

氏名	宇 田 昭 夫
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 6 号
学位授与の日付	昭和36年7月18日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	<b>Guaiazulene</b> ほかに、三 拡炎症性薬物の炎症性浮腫にたいする抑制作用態度
論文審査委員	教授 山崎 英 正    教授 大田原一洋    教授 三上 芳 雄

#### 学 位 論 文 内 容 要 旨

Azulene 及びその誘導体は臨床的に諸種の炎症乃至アレルギー性疾患に優れた治療効果を示しているが、その薬理学的作用態度については詳かでない。著者はこれらの誘導体中優れた効果をもつ Guaiazulene (以下GA) を中心にそれらの作用態度を追究した。

第1編) GA がラット後足におこした Dextran, Hyaluronidase, Formaldehyde, Histamine 及び5-HT による浮腫を抑制する効果をもつことを確認した。Dextran 浮腫は Histamine, 5-HT 及び Hyaluronidase 因子を含み, Hyaluronidase 浮腫は一部5-HT 因子を, Formaldehyde 浮腫は一部 Histamine 因子を含むことを知った。GA の Dextran 浮腫抑制作用は Histamine 及び5-HT 遊離の抑制, Hyaluronidase 活性抑制及び抗 Histamine 作用によることを薬理学的分析によって明らかにした。この実験では他の2, 3の抗炎症薬の作用態度についても同様の検索を行い, 作用態度を比較した。

第2編) GA が組織 Histamine 遊離抑制作用を有するというわれわれの既報の知見にもとづき, モルモット血清過敏症にたいする予防効果を検し, これを確認した。そしてこの効果は GA の Histamine 遊離抑制作用のほかに, この化合物が一部抗原・抗体の結合を粗鬆ならしめる作用を有するためであることを明らかにした。

本論文の第1編は日本薬理学雑誌 第56巻第5号(昭和35年9月20日発行)に掲載予定, 第2編は同誌第54巻第5号(昭和33年9月20日発行)に掲載した。

## 論文審査の結果の要旨

宇田昭夫提出の「Guaiazulene の抗炎症ならびに抗アレルギー作用とその本態に関する研究」について審査した結果の要旨は下記の通りである。

Azolene 及びその誘導体は諸種の炎症乃至アレルギー性疾患に優れた治療効果を示しているが、その薬理学的作用態度については詳かでない。著者はこれらの誘導体中優れた効果をもつ Guaiazulene (GA) を中心にそれらの作用態度を追究した。

第1篇) GA がラットの後足におこした Dextran, Hyaluronidase, Formaldehyde, Histamine, 及び 5-HT による浮腫を抑制する効果をもつことを確認した。Dextran 浮腫は Histamine, 5-HT 及び Hyaluronidase 因子を含み, Hyaluronidase 浮腫は一部 5-HT 因子を, Formaldehyde 浮腫は一部 Histamine 因子を含むことを知った。GA の Dextran 浮腫抑制作用は, Histamine, 及び 5-HT 遊離の抑制, Hyaluronidase 活性の抑制及び抗 Histamine の作用によることを薬理学的分析によって明らかにした。この実験では他の 2, 3 の抗炎症導の作用態度についても同様の検索を行い, 作用態度を比較している。

第2篇) GAが組織 Histamine の遊離を抑制する作用を有するという著者らの既報の知見副論文にもとづき, モルモット血清過敏症にたいする予防効果を検し, これを確認した。そして, この効果は GA の Histamine 遊離抑制作用のほかこの化合物が一部抗原, 抗体の結合を粗鬆にする作用を有するためであることを明らかにした。

以上の如く本論文は独自の着想によって行われ, 新知見に富み学術上有益である。著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有することを認める。